

- 問1 持続可能な社会の実現に向けて導入が進められている再生可能エネルギーについて、太陽光発電の特徴と課題を述べた文として適切なものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 二酸化炭素の排出量が多いという欠点はありますが、天候に関わらず一定の発電が可能である。 | 2. 発電コストが他のエネルギー源に比べて圧倒的に低いため、すでに日本の全電力を賄っている。 | 3. 環境負荷は低いが、夜間や雨天時には発電できないなど、供給が不安定である。 | 4. ウランを燃料とするため、自然環境の影響を全く受けずに安定した電力を供給できる。 |
|--|--|---|--|
- 問2 レタスの出荷統計において、多くの地域で出荷が少なくなる5月から10月の夏場に、長野県が大量の出荷を実現できている理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 暖流の影響を受けた温暖な気候とビニールハウスなどの施設栽培を組み合わせ、成長を早めているため | 2. 広大な平野で機械化を進め、大規模な農地で生産コストを抑えながら短期間に大量収穫しているため | 3. 標高が高い地域の涼涼な気候を活かして、平地では気温が高すぎて栽培が難しい時期に生産しているため | 4. 冬の間に降った雪を貯蔵施設で活用し、夏の間も農作物を冷やして品質を保ちながら出荷しているため |
|---|--|--|---|
- 問3 1997年から2015年にかけて、海外に進出する日本企業の数、北アメリカやヨーロッパにおいて微増にとどまった一方、アジアにおいては約5000社から15000社以上へと急増しました。このように日本企業がアジア諸国へ積極的に進出している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 労働者の賃金が安いいため生産コストを抑制できるほか、人口が多いアジア地域を将来の販売市場として期待できるため | 2. アジア諸国の技術力が日本を追い抜いたため、日本の製品をアジアで研究開発する必要が生じたため | 3. 日本の法人税が他国に比べて極めて高くなったことにより、日本国内での企業活動が不可能になったため | 4. 日本国内の労働力不足を解消するために、アジア諸国の労働者をすべて日本国内の工場へ呼び寄せるため |
|---|--|--|--|
- 問4 再生可能エネルギーの一つである地熱発電の施設が、大分県をはじめとする九州地方や、岩手県などの東北地方に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山活動が活発な地域であり、地下にあるマグマの熱エネルギーを利用しやすいから。 | 2. 広大な平野部が広がっており、パネルを設置するための日照時間を確保しやすいから。 | 3. 森林資源が豊富で、木質チップなどの燃料を安価で安定的に確保できるから。 | 4. 季節風の影響を強く受ける地域であり、安定した風力を得ることが可能だから。 |
|--|--|--|---|
- 問5 日本の発電所の分布を見ると、火力発電所が内陸部ではなく沿岸部に集中して立地しています。その主な理由として適切な説明はどれですか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 海外から大型船舶で運ばれてくる石炭や天然ガスなどの輸入燃料をスムーズに受け入れるため。 | 2. 国内の内陸部にある主要な鉱山から水運を利用して直接燃料を運搬するため。 | 3. 発電時に発生する二酸化炭素を、海中に直接吐き出して中和させる必要があるため。 | 4. 発電機の冷却水として、海水ではなく内陸部の淡水を大量に確保するため。 |
|--|--|---|---------------------------------------|
- 問6 2010年代の日本の輸入構造において、中国からの電気機器の輸入額が、かつて最大だったアメリカ合衆国を大きく上回るようになった背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アメリカ合衆国が日本への製品輸出を制限し、中国がその代替供給元として選ばれたため。 | 2. 日本企業が生産コストを抑えるために中国に工場を建設し、現地で生産した製品を輸入するようになったため。 | 3. 日本国内の電気機器メーカーがすべて閉鎖し、日本国内での生産が完全に行われなくなったため。 | 4. 中国が自由貿易協定によって日本からの電気機器の輸入を全面的に禁止したため。 |
|--|---|---|--|
- 問7 愛知県における工業の統計において、製造品出荷額等の内訳を確認すると、輸送用機械が56%を超えており、他県と比較しても圧倒的に高い割合を示しています。このような産業構造を持つ中京工業地帯の現状について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 自動車関連の工場が数多く集積しており、特定の産業分野に大きく依存した構造になっている。 | 2. 印刷業や金属工業など、消費地に近い利点を生かした多種多様な中小工場が密集している。 | 3. 広大な臨海部に大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が全産業を牽引している。 | 4. かつては鉄鋼業が中心であったが、現在はI C（集積回路）などの電子部品生産に特化している。 |
|--|--|--|--|
- 問8 日本の東方沖では、低緯度側から北上する暖流と、高緯度側から南下する寒流がぶつかり合っています。このように異なる性質の海流が合流し、プランクトンが豊富で好漁場となる場所を何と呼びますか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-------|--------|
| 1. 排他的経済水域 | 2. バンク（浅瀬） | 3. 潮境 | 4. 大陸棚 |
|------------|------------|-------|--------|
- 問9 日本の工業に関する統計において、熊本県や大分県、長崎県といった九州地方や、岩手県を中心とする東北地方、さらには茨城県などの関東地方で、製造品出荷額に占める割合が高いことが特徴である品目はどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------|---------|-------|
| 1. 集積回路（IC） | 2. 自動車 | 3. 繊維製品 | 4. 鉄鋼 |
|-------------|--------|---------|-------|
- 問10 日本は原油の約9割を中東地域からの輸入に頼っています。サウジアラビアなどからペルシャ湾を経て運ばれる輸送ルートにおいて、マレー半島とスマトラ島に挟まれたマラッカ海峡が「海上交通の要衝」として重視される理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. インド洋と太平洋を結ぶ最短の航路であり、ここが封鎖されると輸送コストやエネルギー供給に深刻な影響が出るため | 2. 海流の向きが常に日本方向へ流れているため、タンカーが燃料を消費せずに航行できる天然の移動手段となっているため | 3. この海峡は水深が非常に深く、世界中のすべての大型タンカーが安全に停泊して検疫を受ける唯一の場所であるため | 4. 海峡周辺の国々と日本が特別な経済協定を結んでおり、日本向けのタンカーのみが優先的に無償で通行できる権利を持っているため |
|--|---|---|--|
- 問11 日本の交通網の大きな特徴である東海道新幹線の経路と役割について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本の二大都市圏を高速で結ぶため、神奈川県や愛知県などの主要都市を経由して建設されている。 | 2. 北陸地方の経済活性化を目指し、福井県などの日本海沿岸の各都市を直接結ぶ役割を担っている。 | 3. 中部地方の内陸部を開発することを目的として、長野県を経由して日本海側へ向かう経路をとっている。 | 4. 紀伊半島の観光地への利便性を高めるため、大阪から和歌山県を経由して四国方面へつながっている。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 環境負荷は低いが、夜間や雨天時には発電できないなど、供給が不安定である。	太陽光発電は、発電時に温室効果ガスを排出しないクリーンなエネルギー源ですが、太陽が出ていない夜間や、日差しの弱い雨天・曇天時には発電量が著しく低下します。人間の経済活動による電力消費のピークと、自然環境による発電のピークが必ずしも一致しないため、電力不足や余剰電力の発生といった供給上の課題が生じます。
問2	答え 3 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地では気温が高すぎて栽培が難しい時期に生産しているため	長野県などの高冷地では、標高の高さを利用して夏でも涼しい気候を保つことができます。この特性を活かし、他の地域では品質が落ちたり収穫が困難になったりする夏場にレタスなどの野菜を栽培・出荷する「高冷地農業」が盛んです。これにより、他県が少ない時期に大量の出荷が可能となります。
問3	答え 1 労働者の賃金が安いいため生産コストを抑制できるほか、人口が多いアジア地域を将来の販売市場として期待できるため	アジア諸国への進出が急増した背景には、日本国内に比べて労働者の賃金が安く、製品を作るための生産コストを低く抑えられるという利点があります。また、アジアは人口が多く経済成長も著しいため、単なる「工場の拠点」としてだけでなく、作った製品を売るための「将来的な販売市場」としても極めて重要視されています。統計データにおけるアジア進出企業数の激増は、こうしたコスト面と市場性の両方のメリットを反映したものです。
問4	答え 1 火山活動が活発な地域であり、地下にあるマグマの熱エネルギーを利用しやすいから。	地熱発電は火山の地下にあるマグマの熱を利用して蒸気を取り出し、タービンを回すことで発電します。そのため、火山帯が位置する九州地方や東北地方に発電所が集中しています。他の選択肢は、風力発電、太陽光発電、バイオマス発電のそれぞれの特徴を説明したものです。
問5	答え 1 海外から大型船舶で運ばれてくる石炭や天然ガスなどの輸入燃料をスムーズに受け入れるため。	日本は火力発電の燃料となる原油や石炭、天然ガスなどの資源のほとんどを海外からの輸入に依存しています。大型船舶が直接着岸して効率よく燃料を陸揚げできるように、火力発電所は主に沿岸部に立地しています。
問6	答え 2 日本企業が生産コストを抑えるために中国に工場を建設し、現地で生産した製品を輸入するようになったため。	1990年代以降、グローバル化の進展に伴い、日本の多くの電機メーカーが人件費の安い中国に生産拠点を移しました。このように、日本企業が海外に進出して生産した製品を日本に逆輸入する形態が増えたことが、中国からの輸入急増の大きな要因です。これにより、日本の輸入相手国は欧米中心からアジア中心へと大きく変化しました。
問7	答え 1 自動車関連の工場が数多く集積しており、特定の産業分野に大きく依存した構造になっている。	中京工業地帯は、世界的な拠点を持つ自動車メーカーやその関連企業が集中しているため、製造品出荷額の半分以上を輸送用機械が占めるという極めてユニークな構成になっています。このため、自動車の売れ行きや世界情勢が地域経済に与える影響が、他の工業地帯よりも大きいという背景があります。
問8	答え 3 潮境	暖流と寒流がぶつかる場所では、海水が複雑に混ざり合うことで海底近くの栄養分が海面近くまで巻き上げられます。これにより、魚の餌となるプランクトンが大量に発生し、暖流系と寒流系の両方の魚が集まるため、非常に優れた漁場となります。
問9	答え 1 集積回路（IC）	九州は「シリコンアイランド」、東北は高速道路沿いに工場が並ぶことから「シリコンロード」と呼ばれ、集積回路の工場が多く立地しています。これらの製品は小型で軽量なため、輸送コストに占める割合が低く、空港や高速道路の周辺、そして製造過程で不可欠な清浄な水が確保できる場所に工場が集まる傾向があります。
問10	答え 1 インド洋と太平洋を結ぶ最短の航路であり、ここが封鎖されると輸送コストやエネルギー供給に深刻な影響が出るため	マラッカ海峡はインド洋と太平洋をつなぐ極めて狭い通路であり、中東から日本へ原油を運ぶ際の最短ルートです。この海峡が紛争や事故などで封鎖された場合、タンカーは遠く離れた別の海域を迂回しなければならず、輸送日数の増加や燃料費の高騰を招きます。このように、地理的に代わりがきかない重要な場所はチョークポイントと呼ばれ、安全保障上の大きな課題となっています。
問11	答え 1 日本の二大都市圏を高速で結ぶため、神奈川県や愛知県などの主要都市を経由して建設されている。	東海道新幹線は、日本の三大都市圏のうち、東京を中心とする関東圏と大阪を中心とする近畿圏を最短時間で結ぶために建設された鉄道路線です。その経路は太平洋側の地域を優先しており、愛知県の名古屋駅などの巨大なターミナル駅を設置することで、全国的な交通網の要（かなめ）となっています。他の選択肢にある長野県や福井県は北陸方面へ向かう路線の特徴であり、和歌山県は東海道新幹線のルートには含まれていません。